



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成29年2月

■今号12ページ 主な内容

- 新年へ期待と決意「祈願祭および仕事始め式」
- 生産各部会の総会・反省会、生育・出荷等情報
- 未来塾で片倉洋平職員「LINE@でつなくJA阿蘇の未来」が優秀賞に
- 「JA阿蘇きらり☆」「イラスト違い探し」など好評連載 !!



●▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

春実感! 第42回JA植木まつり

「祈願祭および仕事始め式」
役職員一丸となって職務遂行を！

平成29年新年の「祈願祭および仕事始め式」が1月6日、本所駐車場で行われ、役員ら約120人が出席しました。神事が厳かに執り行われた後、仕事始め式で原山寅雄組合長は昨年を振り返り、「地震、大雨、噴火など自然災害の恐ろしさを痛感させられる1年でありましたが、組合員のご理解・ご協力、役職員の努力により輝かしい新年を迎えられたことを感謝し、本年は平穏な1年でありますよう」と述べ、続けて復旧・復興、TPP、農協法改正に伴う外部監査による膨大な費用の発生が予測されることについて触れ、「さらに農業・農協を取り巻く環境が厳しいなかではありますが、組合員のために役職員が一丸となって努力すれば乗り越えられるものと信じる。自信をもって職務遂行してほしい」と職員を激励しました。



祈願祭・仕事始め式で新年の決意を述べる原山組合長

平成28年度(第57回)
県農業コンクール大会表彰式
JA阿蘇管内から4組が受賞



開会の祝辞を述べる蒲島知事

第57回熊本県農業コンクール大会表彰式が1月26日熊本テルサで行われました。各部門の受賞関係者には主催者の蒲島熊本県知事から表彰状が贈られました。

県農業コンクール大会は、自らの農業経営・技術の改善に積極的に取り組む県内の優秀な農業経営者や集団を表彰し、併せて県民への農業理解を図り、農業・農村の振興に寄与する目的で、昭和35年から始まったものです。

当日、JA阿蘇管内からは次の4組の方々が表彰をされました。(＝活動内容及び業績等は大会資料による＝)

「経営体部門優良賞」宮崎博美・春子夫妻(小国町)＝ハウレンソウ＝高収量・高品質栽培技術を確立。自身の技術を公開し部会全体の技術向上に貢献。必要経費を適切に管理し不意の出費に対応できる経営を実践、部会に波及。



経営体部門優良賞の宮崎夫妻



新人王優良賞の本田さん

「新人王部門優良賞」本田雄祐さん(高森町)＝肉用牛繁殖＝就職後23歳でUターン就職。経営分離により畜産部門を任せられる。ハウス牛舎の建設など低コストで規模拡大を実践。基本技術の徹底により1年1産を実現。

「食と農部門優良賞」ふれあい市場出荷協議会・下城博志会長(南小国町)＝地元産を中心とした農畜産物の販売や、黒川温泉への地元野菜提供による地産地消活動を推進。熊本市楠団地と都市農村交流にも取り組んでいる。



食と農優良賞の下城会長



地域貢献賞の宮崎さん

「地域貢献賞」宮崎徳雄さん(小国町)＝ダイコン・水稲・シイタケ・繁殖牛の複合経営で、すべての分野でこだわりと誇りを持って経営を実践。小国郷大根部会長としてダイコン洗浄機の導入等に尽力、小国大根のブランド化に貢献。



種類が豊富と高い評価

野尻地区の「ストック」
3月までに約5万本出荷予定

J A阿蘇野尻地区では、多数ある花品目の一つ「ストック」の出荷が昨年12月より始まり、生産農家では寒さ対策をしながら収穫作業をしています。取材時(12月)、収穫されていたものは9月に定植されたものです。ストックは気温低下を感じて花芽がつくという習性があり、本来であれば12月には出荷最盛期を迎える予定でしたが、今季はやや遅れての出荷開始となりました。同地区のストックは冬場の繋ぎ品目として栽培されており、平地での出荷開始となる時期には出荷終了となるため、他産地との重なりがないなどメリットがあります。

生産者の白石豊和さんは「出荷は遅れたものの長さは十分にあるので、自

信を持って出荷できている」と意気込みを話しており、市場関係者も「野尻地区のストックは品質も良く、安定した出荷態勢で豊富な種類があるため産地として期待している」と高評価していました。主な出荷先は九州地区で3月までに約5万本が出荷され、葬祭や仏花として使用されます。(写真上)

生育状況を確認する白石豊和さん

出荷量53万本、販売額4826万円
数量減の単価高で終了
波野花卉部会出荷反省会



J A阿蘇波野花卉部会は12月7日、2016年度産出荷反省会を阿蘇市で開き、部会員や行政・市場・J A関係者

「切り花用葉牡丹」

次年度本格的出荷に手応え
J A阿蘇蘇陽地区

J A阿蘇蘇陽地区で平成28年から栽培されている「切り花用葉牡丹」(品種「晴姿」と「初紅」)の出荷が間近(12月取材時)となっています。

秋口の高温により若干の品質低下が

22人が出席しました。

同年度は出荷数量53万本(前年比97%)、販売金額4826万円(同)で数量減の単価高で終了しました。

工藤富之部会長は挨拶で「気候変動が年々読めなくなってきたり、生産が非常に難しい中、本年度は上々の結果となったことに安心しているが、何事も起きてからでは遅いので、計画・対策を前もって再確認し次年度も頑張りましょう」新たな決意を述べました。

市場関係者も「本年度は夏場の高温の影響で、全国的に生産期間が早まり、入荷の集中する日が多く見受けられ厳しい販売となった。波野地区は品質も良く小売店や量販店にも高評価を得ている。次年度もより多くの出荷をして頂きたい」と期待感を述べました。(写真上)各界の関係者が集まって行われた反省会のひとコマ

見られるものの、初年度の栽培にしては品質の仕上がりがなっています。12月8日には出荷予定先の市場担当者が現地を訪問し、出来栄を確認しました。「切り花用葉牡丹」導入は、同地区の花出荷市場(九州地区)担当者より「平坦地では気温が高く思ったような色合いが出ないため、高冷地での産地を作りたい」という意向から、蘇陽地区で作付が開始されました。

販売担当の上田裕樹職員は「灌漑管理や風対策など課題は山積みだが、次年度に向けて手応えは感じている」と語り、市場担当者も「露地栽培としては良い品物が出来ており、正月用アレンジメントなどに十分使える」と、年末の需要期に期待していました。

出荷は試験的な作付のため九州管内市場に1万3000本程度が12月23〜27日に出荷されました。



生育状況を確認する市場担当者

JA阿蘇アスパラ部会出荷反省会 販売高7億円を突破 次年度課題は品質面の改善



J A阿蘇アスパラ部会は12月6日、阿蘇市で生産者ら120人が出席し2016年産出荷反省会を開きました。反省会では2016年産の販売実績報告や情勢報告があり、成績優秀者表彰も行われました。

山部修部会長は挨拶で「春芽出荷最盛期に地震が発生し、共同選果が停止したりしたが、生産者一人一人に頑張ってもらったので、販売計画を上回ることでできた。感謝申し上げます」と述べ、続いて販売実績報告のほか栽培管理上の反省点及び改善点について、担当の後藤真智指導員より説明が行われました。

2017年産については地区別の講

習会に加え、技術レベル別の栽培管理講習会も実施することで、栽培管理の基礎部分を固める取り組みを行うことを確認しました。また、部会初の試みとして当年は出荷市場へアンケート調査を実施し、出荷期間における品質や他産地と比較しての問題点などを整理した結果、品質面の課題が浮き彫りとなったため、次年度は品質面の改善を中心に販売展開をしていくことになりました。

2016年産における出荷実績は、出荷数量698万569束(1束1008/前年比120%)、販売金額7億3109万2865円(同111%)、平均単価104.7円(同93%)。

2016年産における成績優秀者は次の通り。(敬称略)

▽J A表彰(総販売高部門) Ⅱ西村豊治▽部会表彰(総販売高部門) Ⅱ笹原順子・田上博康・岩下義国▽部会表彰(栽培技術部門) Ⅱ室治夫・山部修・山口ヒサカ▽部会表彰(功績賞部門) Ⅱ佐藤春生・綿住輝・西村真登・柚上慎一郎▽部会表彰(技術躍進部門) Ⅱ藤尾斉・阿南光一郎・古澤清行・山部ユウ子・原田政雄・藤原孝誠・穴見正利・渡邊貴之・今村良一・清田一也・古澤博幸(写真上) Ⅱ優秀者表彰を受ける部会員)

新年産に向けた基本方針確認 JA阿蘇アスパラ部会総会



J A阿蘇アスパラ部会は12月8日、阿蘇市で2016年度総会を開き生産者ら関係者約120人が出席しました。

総会では16年度事業報告等9議案が承認・可決されました。山部修部会長は「生産者一人一人の努力があったので目標を達成することができた。今後でも安全安心な品物を生産者一丸となって作っていききたい」と挨拶しました。

16年産について生産面では、栽培管理のポイントとなる時期の栽培管理講習会の開催。販売面では販売促進活動への積極的な取り組みなどで、県内外の消費者へ安全安心な阿蘇のアスパラを届けることが出来たこと。さらに2017年産については、反取アップ、安全安心な生産への取り組み、販促キャンペーンによるPR、産地と消費地との情報交換強化などを基本方針として確認しました。

特に安全安心な生産への取り組みとして、出荷期間通しての残留農薬自主検査、生産者への農薬使用講習会を前年以上に熱心に取り組んでいくことにしています。



写真上 挨拶をする山部修部会長
写真右 総会に出席した生産者の皆さん

販売額は前年比106%
「生産者増は産地強化に繋がる」
中部ミニトマト部会総会・反省会

J A阿蘇中部ミニトマト部会は12月16日2016年度総会及び反省会を阿蘇市で開き、部会員をはじめ行政・市場・J A関係者ら40人が出席しました。

2016年度産は、出荷数量5万1894ケース(1ケース≒3kg)前年比96%、販売金額で8934万円(同106%)の結果となりました。

要因としては新規部会員の加入と、数量減ではあったものの単価高で推移したため、昨年度の過去最高販売実績をさらに上回る結果となりました。

坂田一雄部会長は「本年度は自然災害の恐ろしさを改めて体験し、非常に厳しい栽培環境下にあったにもかかわらず、部会員の皆様が生産拡大に向けて努力をされて大変有り難いことです。また、J Aをはじめ関係機関の皆様には生産販売向上に協力をして頂き、お礼申し上げます」と挨拶。

一方、市場関係者は「本年度産については、地震の影響等により生産動向が心配なシーズンでしたが、無事に前年並みの出荷量を頂き感謝している。全国的に夏秋ミニトマトの生産は年々減

少しているが、このような情勢の中で生産者が増えることは産地の強みに繋がります」と、評価するコメントを述べました。

中部ミニトマト部会では、次年度も新規部会加入が予定されており、更なる産地作りを目標に生産者1人1人が生産意欲向上を掲げています。

厳しい環境乗り越え結果残す
販売額11億5500万円
J A阿蘇中部トマト部会



中部トマト部会反省会の様子

J A阿蘇中部トマト部会は12月19日、2016年度部会反省会を阿蘇市内で開き、生産者や行政・市場・J A関係者ら180人が出席しました。



総販売高部門、栽培技術部門で表彰された方々

2016年度は生産者152人(前年比106%)、面積38.7ha(同106%)、出荷重量3755t(同93%)、販売金額11億5500万円(同93%)と、厳しい環境下ではありましたが上々の結果となりました。

竹原輝一部会長は挨拶で「2016年度産は、熊本地震から始まり夏場の高温の影響で栽培環境は非常に厳しい状況となりましたが、生産者1人1人の努力により無事今季を終えることができ大変感謝をしています。次年度も部会員一丸となって生産向上・販売高アップに向け頑張りましょう」と述べました。

市場関係者は「2016年度産夏秋マトは厳しい情勢の中で、昨年同等の出荷量をして頂き感謝しています。流通面での多角化や消費ニーズもより多くなつてきていますが、今後も夏秋産地のトマト動向には問題はありませんと評価をしました。

同部会では毎年、新規参入の若手農家の部会加入があり、盛り上がりを見せています。同時に年々反収アップの生産者が増えてきており、一層の部会員個々の栽培意欲と生産レベル向上が求められています。総会では表彰も行われました。(敬称略)

▽総販売高部門≡斉藤孝幸▽栽培技術部門≡岩下幸史・山内孝志・甲斐二六・小野勝義・水本圭二

女性部研修や部会育成に取り組み
情報発信の充実で販売強化めざす
J A阿蘇白水ミニトマト部会

J A阿蘇白水ミニトマト部会は12月13日、南阿蘇村で生産者ら40人が出席して2016年度総会及び出荷反省会を開きました。総会では2016年度事業報告等3議案が承認・可決されました。

後藤光栄部会長は「気象災害に見舞われた1年だったが、次年度は収量ア

※次ページに続く

※前ページより続く

ツプを旨指し頑張っていくましよう」と挨拶しました。同部会では2016年の生産面においては、土壌分析を基本とした施肥改善、販売面では重点市場の位置付け及び販売対策などに取り組みました。8月の高温により着花状況が悪く、出荷量は前年比を下回る結果となりましたが、指導係の古澤勝己職員は「夏場の高温対策について考えた」と次年度への課題を語っていました。2017年産基本方針としては、産地間交流や青果物コントロールセンターとの連携などを強化し、併せて部会研修や女性部研修による部会育成にも取り組んでいくことを確認しました。

2016年産実績は、出荷数量8万9818パック(1パック200g/前年比87%)、販売金額1億2532万1000円(同99%)、平均単価155円(同113%)となっています。



挨拶をする後藤光栄部会長

「ゆうべに」作付拡大に向けて JAたまな横島地区を視察 JA阿蘇いちご部会



JA阿蘇いちご部会の部会員47人は1月20日、県内屈指のいちご産地であるJAたまな横島地区の先進地視察研修を行いました。ちなみにJAたまなは熊本県内で「ゆうべに」の作付率が69%を占めています。

JA阿蘇管内では「ゆうべに」を2015年度産より導入していますが、県内作付率は2.8%となっています。「ゆうべに」は試験段階であることもあって、品種の特性や肥培管理等が従来品種と異なるため、管内枠を超えた情報交換が必要不可欠と、今回の視察が実施されました。

視察を終え、新たな年への抱負を営農部園芸課の江藤秀晃職員は「年内収量確保高品質に向けた育苗・定植時期、また草勢・肥培管理が重要なため、

定期巡回や講習会を開催し同品種の普及拡大に向けた取り組みが必要だ。販売については、県産品種ということもあり、熊本県を全国にPRできるチャンスでもあるため、攻めの販売を行いたい」と熱く語っていました。

JA阿蘇管内の栽培期間は6月中旬まで予定しており、今3月～4月にかけてピークを迎えます。(写真上「阿蘇いちご部会による視察の様子」)

◆未来塾修了レポート発表会◆ 『LINE@でつながる』 JA阿蘇の未来』に優秀賞 蘇陽中央支所 片倉洋平職員

JA熊本中央会が主催する「JA戦略中核人材育成研修会」未来塾の修了レポート発表会が1月13日、JA熊本教育センターで行われ、蘇陽中央支所金融共済課金融共済係の片倉洋平職員が研修の成果を発表。審査の結果、優秀賞に輝きました。

この研修会は、今後のJA運営を担う中核となる人材を継続的に育成することを目的に行われており、各JAから推薦された研修生9人がさまざまな考え方やノウハウを身に付けるため、昨年7月から9回、延べ21日間の研

修を受けてきました。

当日は各JAの常勤役員や上司など約74人が参加。7分間ずつのプレゼンテーション形式で行われ、研修生はパワーポイントを使い、JAがとるべき戦略やその実践具体策を力強く発表しました。片倉職員は『LINE@でつながるJA阿蘇の未来』と題して、若い世代へ身近な情報の発信及び組合員とJAをつなぐ役割について、さらに今後JAとしてどう取り組んでいくかについて発表しました。

当日、片倉職員が発表した『LINE@でつながるJA阿蘇の未来』の説明図は次ページ掲載しています。



後日、改めてJA阿蘇で研修成果を発表する片倉職員



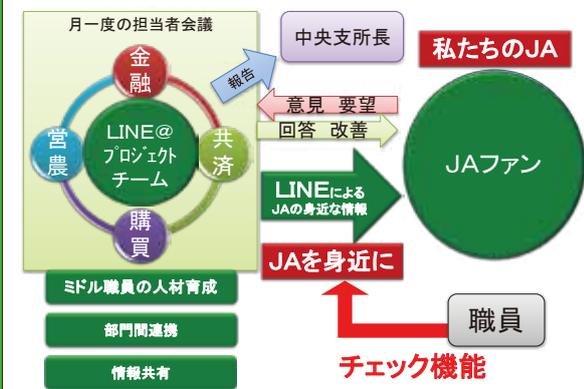
未来塾修了レポートで発表する片倉洋平職員



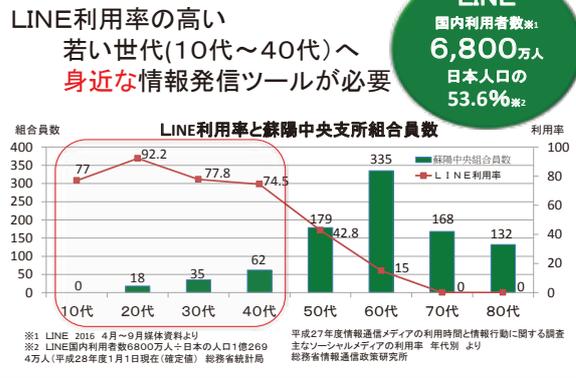
LINE@でつなぐ JA阿蘇の未来

JA阿蘇 蘇陽中央支所 片倉 洋平

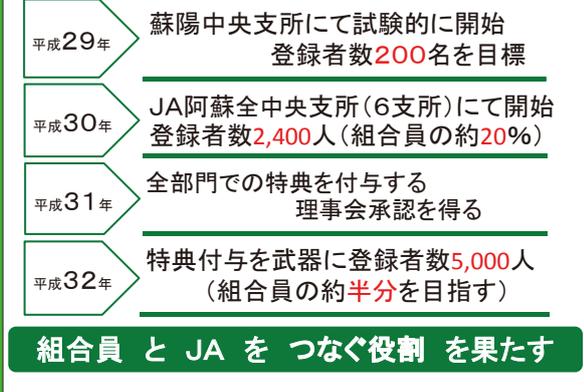
4.LINE@の管理体制について



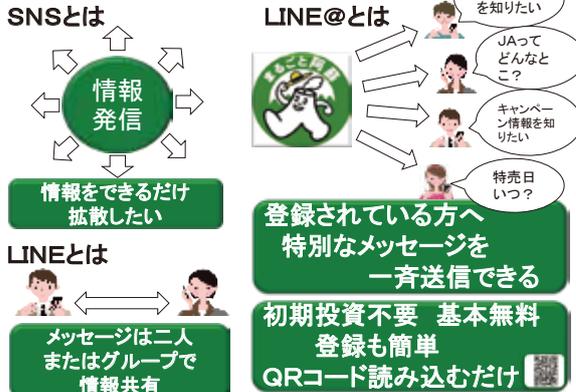
1. 現状分析



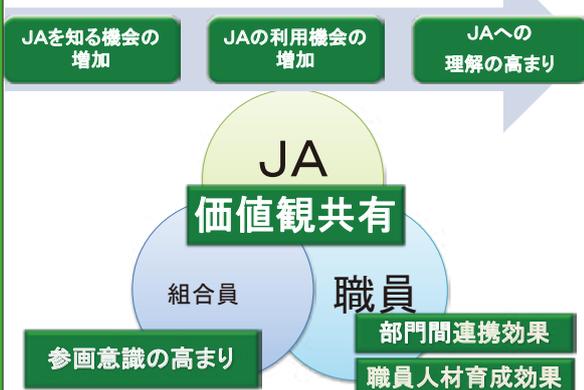
5.LINE@活用の事業計画



2. LINE@とは



6.LINE@活用の効果と期待



3.LINE@の活用法について

特典 定期貯金の金利上乘せ(0.05%) SSでのオイル交換時300円引き (例えば) 貸出金の金利引下げ(0.1%) 葬祭の割引対象 イベント集客時に粗品プレゼント 集荷日日程のお知らせサービス

JA総合事業を強力にPR

災害時に役立つ情報を 発信できる

南阿蘇西小の4年生 熊本地震による農業被害を学ぶ

JA阿蘇の後藤真智職員が説明



南阿蘇西小学校4年生に、熊本地震による農業被害についてJA阿蘇の後藤真智職員が授業を利用して話をしました。例年、同小学校4年生はバケツ稲栽培に取り組んでおり、その一環として熊本地震による南阿蘇村の農業被害について説明をしてほしいとJA阿蘇に依頼がありました。

対応した後藤職員は、スライドを利用して南阿蘇村の地震の被害状況を説

明しました。水田の畦畔崩壊や亀裂により定植できなくなったハウスなど、スライドで地震の被害を知った子供たちからは「地震の時、農家の皆さんは何に苦労しましたか」とか、「地震で農家を辞めた方はいますか」など質問が寄せられました。

それらの質問に対して、後藤職員は「地震による被害は大きかったが、全国各地から支援があり元気をもらった。そのような支援に応えるためにも、これからも安全安心な農産物を消費地に届けるために、生産者と一緒になって頑張っています」と答えていました。

子供たちは、今回の地震による農業被害の状況と1年通して学んだ地域の農業についてまとめて、2月18日に開催される同小学校の学習発表会で発表する予定です。(写真上＝熊本地震による農業の被害状況について後藤職員から話を聴く小学生)



JA阿蘇ロールプレイング大会 最優秀賞に阿蘇町中央支所の 山内美奈子・池田博文チーム



JA阿蘇は12月10日、一の宮中央支所で信用窓口を担当する6チームが参加して、ロールプレイング阿蘇大会を開きました。

競技の結果、最優秀賞に阿蘇町中央支所の山内美奈子・池田博文チームが選ばれました。

競技は原山寅雄組合長らを審査員に加え、80人の関係職員が参加して行われました。お客様に選ばれ信頼される地域ナンバーワンの窓口を目指し、テラー役・上司役の2人1組のチームで所要時間内に与えられた課題に工夫を凝らし、競技を行いました。

最優秀賞チームは2月25日、宇城市のウイング松橋で行われる「JAバンク

熊本窓口ロールプレイング大会（JAバンク熊本主催）に出場します。

阿蘇大会の成績は次の通りです。（敬称略）▽最優秀賞＝山内美奈子・池田博文（阿蘇町中央支所）▽優秀賞＝三重野愛・町みどり（阿蘇南蘇陽支所）、井達子・山部隆義（波野支所）



（写真上＝最優秀賞に選ばれた阿蘇町中央支所の山内美奈子・池田博文職員チーム／写真右＝真剣な表情で行われる競技の様子）

平成28年12月

平成28年度 農家経営承継者支援事業

農家経営を承継
された皆様へ

種苗、肥料の購入など、農業経営にかかる費用を助成します。

助成申請期間（JAでの受付期間）

平成29年2月15日(水)～平成29年4月28日(金)

対象者

(助成要件)

- ①平成28年1月1日から平成28年12月31日までの間に、3親等以内の親族より農家経営の承継を行った方
- ②平成28年1月1日時点で、満年齢が18歳以上45歳未満であること
- ③申請時点で営農しており、今後も継続する見込みであること
- ④平成28年1月1日から平成28年12月31日までの間に、行政等が実施する「青年給付金制度」による給付金を受給していない方

助成金額

1人あたり

年間最大**20**万円
(1人あたり申請は1回限り)



●助成総額には上限があります。そのため、多数の申請があった場合は要件を満たしていても助成額が減額される可能性がありますので、予めご了承ください。

※詳しくは、最寄りのJA窓口までご相談下さい

 JAグループ熊本

「JA阿蘇きらり」



小国郷中央支所営農部農産課農産係小国地区担当

たかの ゆうや
高野 雄哉

- ★趣味=趣味=体を動かすこと
- ★一言コメント=営農部農産課農産係小国地区担当2年目の高野といいます。米とお茶を担当しています。今年は農産物検査員の研修を受けているので、合格できるように頑張りたいと思います。



一の宮中央支所購買課一の宮給油所係

ひらおか ゆうき
平岡 優希

- ★趣味=読書・旅行
- ★一言コメント=社会人3年目になるので、仕事以外にも、色々チャレンジしていきたいと思います。

JA阿蘇イラスト違い探し「春の訪れ」

(出題:イラストレーター みやたまゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!



※答えは11ページにあります。

理事会・監事会報告

■平成28年度第12回理事会

日時 平成28年12月16日午後3時00分

場所 リバーサイドホテル熊本

○県常例検査講評(熊本県農林水産部団体支援課団体検査室)

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会・債権管理委員会)

11月末実績報告について

監事監査報告(平成28年度上期決算監査)について

1)教育ローン(極度型C)の資金創設について(案)

2)パートタイマー就業規則の改正について(案)

3)就業規則の改正について(案)

4)育児休業規程の改正について(案)

5)介護休業規程の改正について(案)

報告事項

1)平成28年度JA共済コンプライアンス点検結果

及び改善方針の概要について

2)平成28年度導入家畜等棚卸監査実施要領について

3)仕事納めに伴う支所巡回並びに新春の年賀について

4)年末年始休日の緊急連絡先について

5)年末年始の業務等について

6)2016JA阿蘇総合展示会実績報告について

7)平成29年度JA阿蘇特別栽培米肥料・農薬基準について

8)平成28年度産米集荷実績について

4. 閉会

3)農業生産資金(農機具購入)および農機ハウスローン
金利設定について(案)

4)JAネットバンク振込手数料の変更について(案)

5)JAバンク新規就農応援資金の創設について(案)

6)貸付金について

報告事項

1)平成28年度決算監査(期中Ⅲ(資産査定等))の実施について

2)中部地区支所再編説明会報告書について

3)平成27年度JA阿蘇経営分析結果報告書について

4)不祥事再発防止策内部監査実施状況報告書

(平成28年10月～12月)について

5)不祥事未然防止の為の行動計画28年12月末進捗状況について

6)平成28年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの

進捗状況について(12月末)

7)県域ローンセンター媒介業務実績について

8)JA阿蘇農政連合会費・WTO・EPA・TPP募金徴収実績について

9)農機・自動車展示会開催について

10)平成28年度「JA-SS冬のこやかプレゼント

キャンペーン」について

11)JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の28年12月末進捗状況について

12)余裕金運用状況について

4. 閉会

●平成28年度第10回監事会

日時 平成29年1月24日(火)午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1)平成28年度導入家畜等棚卸監査実施要領について

報告事項

①常勤監事業務報告について(11月、12月)

②常勤会議報告について(第17回、第18回、第19回、第20回)

③平成28年度組合長・常勤役員研修会について

④不祥事再発防止策内部監査実施状況報告書について

(平成28年10月～12月)

⑤平成28年度期末監事研修会について

⑥行事予定について

4. 閉会

■平成28年度第13回理事会

日時 平成29年1月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(総務専門委員会)

12月末実績報告について

1)平成28年度上期決算監事監査回答書について(案)

2)「生活応援キャンペーン春2017」の

実施に伴うキャンペーン金利設定について(案) /

『青色申告を始めましょう』

青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。青色申告には、税制上のメリットもあります。

新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、**平成29年3月15日までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出する**必要があります。

●青色申告とは＝日々の取引の状況を所定の帳簿に記帳し、その記帳に基づいて正しい申告をすることです。原則として、正規の簿記(一般的には複式簿記)による記帳となりますが、簡易帳簿で記帳することもできます。

●青色申告の主なメリット

(1)青色申告特別控除＝正規の簿記(複式簿記)の場合は最高65万円、簡易帳簿の場合は最高10万円を所得から控除されます。

(2)損失の繰越しと繰戻し＝損失額を翌年以後3年間(法人は9年間)にわたって繰り越して、各年分の所得から控除可能です。

また、繰越しに代えて、損失額を前年に繰り戻して、前年分の所得税の還付を受けることも可能です。

なお、政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度の導入が検討されています。詳しくは、農林水産省のホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/keiei/hoken/saigai_hosyo/syu_nosai/index.html

● JA阿蘇青色申告会より白色申告のみなさまへ ●

税法上さまざまな特典(65万控除・10万控除等)を受けられる「青色申告」を始めてみませんか？

面倒な事務処理のお手伝いをJAの青色申告会が致しますのでご安心ください。

※お問い合わせは下記の青色申告会事務局へ

JA阿蘇青色申告会(本所 営農部)TEL:0967-22-6115

表示金利の
適用期間平成29年
2月1日平成29年
4月28日生活応援
キャンペーン春
2017JA
マイカーローン店頭標準金利 年1.975% より 年0.275% 引下げ
(平成29年2月1日現在)

変動金利型

年 1.700 %

下記の 金利引下げ条件 を必ずお読みください。

金利引下げ条件

- ・以下の1～5を満たすお客さまは店頭金利からそれぞれの条件に応じて引下げを行います(1～5の該当項目に関わらず、引下げ幅の上限は最大金利引下げ幅となります。)
1. 当JAでJAカード(クレジットカード)を契約中または新たに契約される方
 2. 当JAに農産物販売代金・給与振込を指定されている方または新たに指定される方
 3. 当JAに公共料金(電気・電話・水道・ガス・NHK受信料等)の口座振替を指定されている方または新たに指定される方
 4. 当JAから自動車購入される方
 5. 当JA自動車共済加入(購入車)される方
- 詳しくはお近くのJA窓口までお気軽にお問い合わせください。

ご注意ください

- 表示金利は、平成29年2月1日～平成29年4月28日にお申込みいただき、平成29年5月31日までに借入れされた場合の適用金利であり、お借入当初に適用されるものです。
- なお、金融情勢等の変化により、本チラシの表示金利を見直しさせていただきます場合があります。
- お借入れ後の利率は基準日(4月1日および10月1日)の基準金利により、年2回の見直しを行います。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
 ※店頭にて返済額の試算を承っております。
 ※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。
 ※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引上げさせていただきます。

JAマイカーローンの商品概要

ご利用いただける方 ●お借入れ時の年齢が満18歳以上で最終償還時の年齢が満80歳未満の方
 ●前年度税込年収が150万円以上ある方(自営業者の方は前年度税引前所得)
 ●当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方
 ●その他当JAが定める条件を満たす方

お使いみち

- 自動車購入資金(新車・中古車・自動二輪)
- 自動車購入時の諸費用(税金・自動車共済(保険金)掛金、登録諸費用等)、車検・整備の費用、カー用品の購入費用
- 運転免許の取得費用
- 簡易な車庫建設のための費用(100万円以内)
- 他金融機関・信販会社等自動車ローンの借換資金

お借入金額 ●10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内)

お借入期間 ●6か月以上10年以内

ご返済方法 ●元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式)

担保・保証人

- 担保:不要です。
- 保証:当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則、保証人は不要です。別途、保証料が必要となります。(熊本県農業信用基金協会の場合 保証料:年0.80%)

JA阿蘇

本所 0967-22-6111
 一の宮中央支所 0967-22-1321
 阿蘇南蘇陽支所 0967-83-1135
 阿蘇南高森支所 0967-62-0521
 阿蘇南中央支所 0967-62-9131
 阿蘇町中央支所 0967-32-4411
 小国郷中央支所 0967-46-3211

「JAとの取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組員加入のための出資が必要となります。)